

第12回

第二次世界大戦と戦後秩序の形成

監修・講師 山本勝治

学習のねらい

ヨーロッパで1939年に始まった第二次世界大戦と、日中戦争が続いていたアジア太平洋の動きは、どのように関連していたのだろうか。1941年に2つの戦線が結びつく中、連合国側はどのような戦争目的を掲げて結束し、それが戦後の国際秩序の構築にどのように影響したのだろうか。第二次世界大戦によってどのように国際秩序が変化したのか、考えてみよう。

keyword

●戦争の始まりと戦争目的

独ソ不可侵条約／独ソ戦／ホロコースト／石油／大西洋憲章／「大東亜共栄圏」

●無条件降伏と戦後処理構想

カイロ会談／ノルマンディー上陸／ヤルタ会談／沖縄／ポツダム会談／原子爆弾

●戦後の国際秩序と国際連合

ブレトン・ウッズ体制／サンフランシスコ会議／集団安全保障／人権

戦争の始まりと戦争目的

1939年9月、ポーランドに侵入したドイツに英仏が宣戦、第二次世界大戦が始まった。独ソ不可侵条約によりソ連もポーランドに侵入、さらにバルト3国を併合した。1940年6月にドイツがフランスを降伏させると、日本は9月にフランス領インドシナに進駐、そして日独伊三国同盟の締結にいたる。このようにヨーロッパ戦線とアジア太平洋の動きは連動していた。日本の南進に対してアメリカは石油禁輸で対抗、日米交渉は決裂し、1941年12月8日、日本軍はマレー半島に上陸するとともにハワイの真珠湾を奇襲、東条英機内閣は英米に宣戦布告した。それに先立ち、ヨーロッパでは同年6月に独ソ戦が始まっていた。8月に英米首脳が発表した大西洋憲章で連合国の戦争目的が示された。他方、日本は欧米の植民地支配からアジアを解放して「大東亜共栄圏」をつくることを戦争目的に掲げた。

ドイツ占領下では、大量虐殺（ホロコースト）で多くのユダヤ人が犠牲になった。ドイツ支配への抵抗運動（レジスタンス）も組織された。

無条件降伏と戦後処理構想

1943年にはヨーロッパでも太平洋でも枢軸国側に不利な戦局となっていた。連合国側は、米英ソまたは米英中の3か国で首脳会談を開き、枢軸国の無条件降伏と戦後処理について協議

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

しながら戦争を進めた。カイロ会談では米英中が日本の無条件降伏と対日処理方針を定めた。また、米英ソのテヘラン会談にしたがって翌 1944 年 6 月にはノルマンディー上陸作戦が決定され、8 月にフランスが解放された。11 月にアメリカは日本本土空襲を開始した。

1945 年 2 月のヤルタ会談では、米英ソがドイツの分割占領などについて協議するとともに、ソ連の対日参戦が秘密協定で決まった。5 月にドイツが無条件降伏。6 月には 3 か月にわたる激戦のすえ、沖縄がアメリカに占領された。ベルリン郊外で 7 月に開催されたポツダム会談では、米英ソが戦後処理について話し合うとともに、米英中の名で日本の無条件降伏を勧告するポツダム宣言が発表された。アメリカは 8 月 6 日に広島、9 日に長崎に原爆を投下。その前日の 8 日にはソ連が日ソ中立条約を破棄して日本に宣戦布告。15 日に天皇から国民にラジオ放送でポツダム宣言受諾が伝えられ、日本は降伏した。

戦後の国際秩序と国際連合

戦後秩序は、第二次世界大戦が終結する 1945 年よりも前から構築され始めた。

経済面では、1944 年に IMF（国際通貨基金）と世界銀行（国際復興開発銀行）の創設が決定され、米ドルを基軸通貨とする戦後の国際通貨体制（ブレトン・ウッズ体制）の形成につながった。また、1947 年には GATT（関税と貿易に関する一般協定）が締結され、自由貿易を基本とする戦後の国際経済秩序が形成された。

政治面では、1944 年のダンバートン・オークス会議で米英ソ中 4 か国が国際連合の基本構想をまとめ、1945 年 4～6 月のサンフランシスコ会議で国連憲章が採択された。こうして、戦後の国際政治秩序は国連を基軸とした集団安全保障体制として形成された。1948 年の国連総会では世界人権宣言が採択され、国家の枠を越えて全人類に普遍的に保障されるべき権利として人権が規定された。

“探究”してみよう！

- 1941 年にアメリカとイギリスの両首脳が発表した大西洋憲章と、日本が掲げた「大東亜共栄圏」のスローガンを分析し、それぞれ戦争目的をどのように正当化しているのか比較してみよう。また、戦後の国際秩序の形成にどのように（どの程度）影響しているのか、考えてみよう。
- 「日本がイギリスやアメリカとの戦争を始めたのは、アメリカによる日本への石油禁輸がもっとも重要な要因である」という主張にどの程度同意するか。他の要因を取り上げて比較したり関連づけたりしながら、根拠を明確にして議論してみよう。
- 国際連盟と国際連合を比較し、どのように変わったのか確認してみよう。そして、なぜ変えたのか、国際連盟の課題が国際連合においてどのように（どの程度）克服されているのか、議論してみよう。